



# 国民年金保険料の免除申請

所得の減少や失業などで国民年金保険料の納付が困難な場合、本人の申請によって免除される「申請免除制度」があります。免除された期間は年金を受けるための受給資格期間(25年)に算入されます。

※一部の免除は、納付しなければ年金を受ける資格期間などに算入されません。

## 免除の種類と納付額(月額)など

- 全額免除** 免除期間すべてが受給資格期間に、免除期間の2分の1が納付済期間に算入されます
- 4分の3免除** 納付額3,780円を納付すると、免除期間すべてが受給資格期間に、免除期間の8分の5が納付済期間に算入されます
- 半額免除** 納付額7,550円を納付すると、免除期間すべてが受給資格期間に、免除期間の4分の3が納付済期間に算入されます
- 4分の1免除** 納付額11,330円を納付すると、免除期間すべてが受給資格期間に、免除期間の8分の7が納付済期間に算入されます
- 若年者納付猶予** 学生以外の30歳未満のかたが対象。全額の納付を猶予します。猶予期間は受給資格期間に入りますが、納付済期間には算入されません  
\* 学生を対象にした「学生納付特例」については、国保年金課へお問い合わせください。

### 免除・猶予が承認された保険料は追納できます

10年以内なら、保険料をさかのぼって納める(追納)ことができます。追納すると将来の年金額は通常どおり納めた場合と同じになります。



### 申請期間

平成21年7月～22年6月分▶7月30日(金)まで  
平成22年7月～23年6月分▶来年7月29日(金)まで

\*平成22年6月分までの申請時に、全額免除、若年者納付猶予の継続を希望したかたは、平成22年7月分からの申請が必要ない場合があります。免除の継続については日本年金機構から送られる通知をご覧ください。

### 申請に必要なもの



年金手帳、印鑑。失業や災害が理由のかたは、その事実を証明できるもの(雇用保険受給資格者証、離職票、り災証明書など)

### 申請窓口

- 国保年金課(議場棟1階)
- 土崎支所 ●西部市民サービスセンター
- アルヴェ駅東サービスセンター
- 河辺・雄和市民センター ●岩見三内・大正寺連絡所

### 問い合わせ

免除・猶予の申請…国保年金課☎(866)2097

免除の継続通知…秋田年金事務所☎(865)2399

	審査基準	老齢基礎年金を受けるための資格期間には	受け取る老齢基礎年金の年金額に	障害基礎年金や遺族基礎年金を受けるときは	後から保険料を納めることは
全額免除	本人、世帯主、配偶者の所得を審査 所得基準は(扶養者+1)×35万円+22万円	入ります	2分の1が反映	保険料を納めたときと同じ扱いです	10年以内なら納めることができます ※3年度目以降は当時の保険料に一定額が加算され、高くなります
4分の3免除	本人、世帯主、配偶者の所得を審査 所得基準は扶養親族控除+社会保険料控除+78万円	保険料の4分の1を納めると入ります	8分の5が反映	保険料の4分の1を納めると受給資格期間に入ります	
半額免除	本人、世帯主、配偶者の所得を審査 所得基準は扶養親族控除+社会保険料控除+118万円	保険料の半額を納めると入ります	4分の3が反映	保険料の半額を納めると受給資格期間に入ります	
4分の1免除	本人、世帯主、配偶者の所得を審査 所得基準は扶養親族控除+社会保険料控除+158万円	保険料の4分の3を納めると入ります	8分の7が反映	保険料の4分の3を納めると受給資格期間に入ります	
若年者猶予納付	本人、配偶者の所得を審査 所得基準は(扶養者+1)×35万円+22万円	入ります	反映されません	保険料を納めたときと同じ扱いです	
未納	—	入りません	反映されません	年金を受けられない場合があります	2年以内なら納めることができます

健康な 今こそ受けよう がん検診

# 胸部検診の日程



検診車が  
巡回

肺がんや肺結核などを早期に発見し、治療に結びつけるための検診です。秋田市の肺がん死亡者数は年々増加しています。症状がなくても年1回は検査を受けて自分の健康を確認しましょう。

12～13ページの日程で検診車が巡回します。どの会場でも受診できますので、14ページの受診票を持って都合が良い会場どうぞ。検診結果は約6週間後に本人へ郵送します。

問い合わせ 市保健所保健予防課  
☎(883)1176



いずれも、秋田市に住民票があることが条件です  
年齢を確認できるものをお持ちください

## 胸部(肺がん・結核)検診

妊娠しているかたや、肺がん・結核で治療中のかたは対象外です。

対象

●肺がん検診(300円)…来年3月31日現在で40歳～64歳のかたで、勤務先などで定期的に肺がん検診を受けることができないかた

●肺がん・結核検診(無料)…来年3月31日現在で65歳以上のかたで、勤務先などで定期的に胸部検診を受けることができないかた

受診方法など

14ページの受診票に必要事項を書いて、検診当日に検診車で提出してください。受診票は検診車や土崎支所、西部市民サービスセンター、アルヴェ駅東サービスセンター、各地域センター、各地区コミセンにもあります。

検診はボタン、ホック、ゴム、チャック、ラメ、プラスチック、刺しゅう、金具などが無い服装で受けてください。なお、同じ日に胃がん検診を受ける場合は、胃がん検診の前に胸部検診を受けてください。

## 喀痰(かくたん)細胞診検査

吐き出された痰を顕微鏡で見て、がん細胞が含まれているかどうかを調べる検査です。肺の入口近くにできるがんは、せき、痰、血痰などの症状が早期に出やすいため胸部検診と併せて実施します。喀痰細胞診検査のみの受診はできません。

対象

次のいずれかに該当し、受診を希望するかた  
・50歳以上で、喫煙指数(1日平均の喫煙本数×喫煙年数)が600以上のかた  
・最近6か月以内に血が混じった痰が出たかた

料金 800円

受診方法

受診予定日の2週間前までにお申し込みください。申し込んだかたに喀痰を取る容器を郵送しますので、3日間の痰を容器に入れて受診当日に検診車までお持ちください。申し込みは市保健所保健予防課へ。☎(883)1176  
※事前に申し込みできなかった場合は、受診当日の申し込みもできます。



次のかたは喀痰細胞診検査を無料で受けることができます

- 75歳以上のかた(昭和11年3月31日以前に生まれたかた)…健康保険証など、年齢を証明できるものをお持ちください
- 生活保護世帯のかた…「医療のしおり」をお持ちください
- 市民税非課税世帯のかた…市民税課、土崎支所、西部市民サービスセンター、アルヴェ駅東サービスセンター、河辺・雄和市民センターで発行する「市・県民税(所得・課税)証明書」をお持ちください。「検診のために必要」と伝えると、発行手数料はかかりません

検診車内でエックス線撮影

